

朝鮮総聯第 25 回全体大会関連資料

2022 年 5 月 28 日～29 日

朝鮮総聯第 25 回全体大会が 5 月 28～29 日、東京朝鮮文化会館で開催された。大会では 4 年間の成果、課題と教訓を発展的見地から分析し、愛族愛国運動を新たな発展段階に導くための事業方針と主力課題が討議、決定された。大会には北海道から九州までの総聯の各組織から選出された約 1300 人の代議員たちが参加した。

「愛国歌」の吹奏で開幕した大会では、はじめに金正恩総書記が大会参加者に送った書簡「各階層の同胞大衆の無限の力によって総聯隆盛の新時代を切り開いていこう」が朗読された。

また、大会の議題を▼総聯中央委員会活動報告、▼財政決算および予算案、▼総聯中央機関の役員選挙の3つにすることを採択した後、朴久好第 1 副議長が第一議題の中央委員会活動報告を行った。

大会では 2 日間にわたり計 14 人の代議員が第 1 議題に対する討論を行った。ビデオ討論(6 本)もあった。

大会では、日本の各界人士らによる連帯の挨拶があり、祖国・朝鮮の各団体から寄せられた祝電と祖国人々からのビデオメッセージ、海外の同胞団体と友好団体、日本の団体・個人から寄せられた祝電とビデオメッセージも紹介された。

大会二日目には、朴久好第 1 副議長が行った報告を大会決定として採択し、第二議題の財政決算および予算案が採択され、第 3 議題の総聯中央役員選挙が行われた。

再選された許宗萬議長が閉会の辞を行い、金正恩総書記に送る手紙が朗読された。

大会終了後、総聯中央委員会第 25 期第 1 回会議が行われ、総聯中央常任委員会委員と、中央監査委員会の委員長、副委員長が選出された。

以下、朝鮮総聯第 25 回全体大会に関する主要な資料を掲載する。

【目次】

◆ 金正恩総書記の書簡：「各階層の同胞大衆の無限の力によって総聯隆盛の新時代を切り開いていこう」	1
◆ 朝鮮総聯中央委員会活動報告(要旨) 朴久好第 1 副議長	8
◆ 来賓あいさつ	15
◆ 祝電・ビデオメッセージ	19
◆ 第 25 回全体大会で選出された朝鮮総聯中央常任委員	19
◆ 朝鮮総聯第 25 回全体大会<Q&A>	20

朝鮮総聯中央本部 国際統一局 〒102-8138 東京都千代田区富士見 2-14-15

Tel: 03-3262-7111/Fax: 03-3262-7110/Email:pa@chongryon.org

金正恩総書記の書簡
「各階層の同胞大衆の無限の力によって
総聯隆盛の新時代を切り開いていこう」
2022年5月28日

偉大な領袖金日成同志の生誕 110 周年と偉大な指導者金正日同志の生誕 80 周年を革命的大慶事、民族最大の政治祭典として盛大に祝った意義深い年に、在日本朝鮮人総聯合会第 25 回全体大会が開かれたことをうれしく思います。

私は、チュチェ朝鮮の尊厳と強大な威力が全世界に誇示されている激動の時期に内外の大きな関心と期待の下に開かれた総聯第 25 回全体大会に際して、大会の参加者をはじめとする全ての総聯活動家と在日同胞に、金日成同志と金正日同志の心まで合わせて最も熱烈な祝賀と熱い同胞愛を込めたあいさつを送ります。

わが共和国の尊厳ある海外公民団体である総聯を強化し、在日朝鮮人運動を絶えず発展させていく上で、総聯の最高議決機関である全体大会は実に重要な位置を占めています。

顧みるに、革命の聖山白頭山に根ざした在日朝鮮人運動がチュチェの軌道に確実に乗った総聯結成のあの日から今日に至る長い道程には、継承と革新、前進と跳躍の分水嶺となった全体大会が誇り高く記されています。

総聯の創建者であり、建設者である金日成同志と金正日同志は、総聯で全体大会が行われるたびに愛の祝賀文を送って在日朝鮮人運動の進むべき道を明示し、在日同胞の幸せな明日を祝福しました。

金日成同志と金正日同志のチュチェの海外同胞運動思想と指導に忠実に従った総聯の活動家と在日同胞は、英知をもって異国の地であらゆる艱難辛苦に耐え抜き、全体大会を契機に愛国・愛族の大きな山を一つずつ越えてきました。

総聯と在日朝鮮人運動の歴史の全過程が刻苦奮闘の険路を歩まざるを得ない苦行の連続でしたが、第 24 回全体大会以降のこの 4 年間は、敵対勢力の増大する反共和国・反総聯策動や世界的な大流行伝染病の拡散によって、全てのわが同胞があまりにも多くの苦勞に耐えなければならなかった厳しい試練の時期でした。

しかし、総聯の活動家と在日同胞は筆舌に尽くしがたい難関が折り重なる厳しい環境の下でも、社会主義祖国と歩みを共にし、在日朝鮮人運動の新たな全盛期を開くための闘争の各戦域で赫々たる勝利の凱歌を高らかにあげました。

祖国への往来が中断された劣悪な状況が続く中、自己の本態を強く示し、祖国と民族のために熱い愛国衷情を尽くしてきた在日同胞の気高い精神世界を通して、祖国の人民は大きな力を得、金日成同志と金正日同志の愛国遺産である総聯の貴さを一層強く感じました。

私は、前代未聞の各年代に祖国の統一・発展と在日朝鮮人運動の勝利の前進のために貴重な生涯を惜しみなくささげた韓徳銖同志、李珍珪同志、徐萬述同志、李季白同志をはじめとする総聯の老世代の幹部と有名無名の第 1 世の同胞に崇高な敬意を表します。

併せて、社会主義祖国と運命の血筋をつないで異国の地であらゆる困難を果敢に乗り越え、いかなる名誉や報酬も望まず、在日朝鮮人運動の新たな全盛期を開くための聖なる道に清らかな良心と信義を宝石のように織り成している全ての総聯活動家と在日同胞に熱い感謝を送ります。

私はこの機会を借りて、総聯と在日同胞の正義の活動を積極的に支持・声援している日本の良心的な人士や平和愛好的な人民、各国の外交使節にも朝鮮労働党と共和国政府、そして私自身の名で深い謝意を表します。

総聯と在日朝鮮人運動は、新たな全盛期を開くためのこの 10 余年間の闘争を通じて大きく飛躍し、自らを保存し維持する段階を超えてより高い目標を目指して前進する全面的発展期に入りました。

このような時点で開催された総聯第 25 回全体大会は、強盛総聯建設の遠大な抱負と理想を実現するための愛国・愛族の進軍を加速化する上で重要な意義を持つ意義深い会合となるでしょう。

今日、総聯の基本的任務は各階層の同胞大衆の力を一つに結集して在日朝鮮人運動の新たな全盛期、総聯隆盛の新時代をさらに力強く切り開いていくことです。

偉大な思想と血縁の情によって固く団結した同胞の無限の力は、総聯と在日朝鮮人運動の永遠なる勝利の保証です。

これは、総聯と在日朝鮮人運動の歴史によって実証された絶対不変の真理であり、また第 24 期総聯活動の誇らしい総括でもあります。

総聯は、愛国・愛族に燃える広範な同胞大衆の無限の力を唯一無二の原動力にして総聯隆盛の新時代を成功裏に切り開かなければなりません。

総聯組織に提起される課題は第一に、総聯の全ての活動を同胞第一主義へ志向させ、一貫させていくことです。

同胞第一主義は偉大なチュチェ思想、人民大衆第一主義を在日朝鮮人運動の実践に具現した思想です。

チュチェ思想を指導思想としている総聯は当然、同胞第一主義組織になるべきであり、同胞第一主義のスローガンを掲げていかなければなりません。

総聯の各級組織と団体、事業体は、在日同胞の民主的民族権益の擁護者、代弁者として自主権と生存権、発展権を擁護・拡大するための闘争を常に基本として捉えるべきです。

総聯の活動家と同胞は、血と汗をもって総聯組織を打ち建て、同胞の子女の学びの場を命を賭して守った第 1 世の念願を寸時も忘れず、教育権、企業権、生活権擁護の炎をさらに強く燃え上がらせるべきです。

各級の総聯組織と団体は、権利擁護活動を愛国・愛族の獲得物を守るための重大な問題と見なして徹底的に対応し、同胞の権益擁護のための大衆運動の幅をさらに広げなければなりません。

総聯は、共和国の最高人民会議代議員をはじめとする在日同胞の祖国への往来を妨げる日本当局の不当な制裁措置を撤回させるための闘争も強力に展開すべきです。

わが共和国政府は今後も、海外同胞権益擁護法に従って在日同胞の民主的民族権利と利益を擁護・保障するための国家的対策を徹底的に講じるでしょうし、同胞の自主権、生存権、発展権をしっかりと保障するための特例措置を次々と実行するでしょう。

総聯の各級組織と団体、事業体は、熱い血縁の情を抱いて在日同胞の生活上の便宜を図るための奉仕・福祉活動にも全力を尽くすべきです。

異国の同胞を片時も忘れることなくあらゆる愛と恩情を注いだ金日成同志と金正日同志の意を体して、貴重な在日同胞の福利のために国の億万の財貨をも傾けたいのが私の真情です。

総聯は、全ての事業と活動を展開するに当たって、同胞の要求と利益、便宜を最優先・絶対視し、同胞の生活と密着した奉仕・福祉活動を根気よく繰り広げ、その過程を通じて総聯組織に対する信頼度を強め、大衆的基盤を大幅に広げなければなりません。

同胞生活相談所の運営を正常化し、結婚、就職、高齢者・障害者問題をはじめとして同胞の生活上の要求を真心を込めて解決しなければなりません。

困難な時ほど同胞の中により頻繁に、より深く入って、同胞社会に徳と情をもって互いに助け思い合う相互扶助の美風がみなぎるようにすべきです。

総聯は、在日同胞の生命や健康を見守る活動に万全を期するべきです。

地震と津波、台風がしばしば発生する日本で、同胞の生命と健康、すみかを安全に守ることより緊切で重要なことはありません。

総聯は、各級機関と学校、同胞の家屋の耐震性も全般的に確かめて対策を講じ、自然災害がよく発生する地域の同胞に対しては一層気遣い、格別の関心を傾けて、一人の同胞も不祥事に遭うことがないようにすべきです。

総聯の先制的な対策と真心こもった奮闘により、世界的な大流行伝染病による同胞社会の被害状況はさほど大きなものではありませんが、絶対に自己満足したり気をゆるめたりすることなく、同胞の生命・安全保障に引き続き全力を尽くして、全ての同胞が無病息災に過ごすようにしなければなりません。

総聯組織に提起される課題は第二に、民主的民族教育を在日朝鮮人運動の未来に責任を持つ教育、同胞が子女を安心して任せる教育に強化・発展させることです。

民主的民族教育は、総聯と在日朝鮮人運動の生命線であり、在日同胞社会の存立と将来がかかっている万年大計の愛国事業です。

それゆえ総聯の民主的民族教育は、徹頭徹尾、自分の領袖、自分の祖国、自分の民族をはっきりと認識させることに重点を置かなければなりません。

そのためには、教育活動家の隊列を総聯の愛国偉業の未来に責任を持つ職業的革命家の隊伍として精鋭化することに注力しなければなりません。

在日本朝鮮人教職員同盟は、全ての教員を新世紀の教育革命方針でしっかりと武装させ、彼らの教育者としての水準と能力を向上させることに重点を置き、指導と援助を着実に行わなければなりません。

総聯の教育活動家は、在日朝鮮人運動の明日の運命に責任を持っているという大きな誇りと使命感を自覚し、民族教育の燦然たる開花期を先頭で切り開かなければなりません。

民族教育で主体性を確立し、世界的な教育発展のすう勢に即して教育の内容と方法を絶えず革新すべきです。

各級学校で政治・思想教育と民族性教育を確固と優先させながら、同胞の活動と生活に必要な知識と技術を教える方向で教育内容をさらに改善しなければなりません。

生徒・学生の年齢的・心理的特性に合う新しい授業法、多様な課外教育方法も積極的に編み出し、互いに共有しなければなりません。

総聯の各級学校の生徒・学生数を決定的に増やすべきです。

組織全体が取り組んで生徒・学生引き入れ活動と朝鮮大学校進学指導活動を責任を持って行うとともに、幼稚園の園児数をさらに増やし、準正規教育網の運営や拡大にも深い関心を払わなければなりません。

在日本朝鮮人教育会と各級組織や団体、事業体は、民族的自尊心をかけて同胞の子女に十分な教育条件と環境を保障するための活動を粘り強く展開すべきです。

アボジ(父)会、オモニ(母)会だけでなく総聯の全ての組織が民族教育事業を愛国事業の第一とし、学校を愛し支援する運動を一貫して繰り広げて、民族教育の正当性と生命力が遺憾なく発揮されるようにすべきです。

特に、朝鮮大学校の事業をさらに改善・強化しなければなりません。

朝鮮大学校は金日成同志と金正日同志が自ら建て、掌中の珠のように大事にしていた民主的民族教育の最高学府であり、この世にまたとない海外同胞大学です。

朝鮮大学校は、総聯の愛国偉業の未来を担って立つ頼もしい中核をより多く、より立派に育てて、在日朝鮮人運動の百年の大計をしっかりと保証しなければなりません。

総聯の活動家と在日同胞はどこでどんな仕事をしようとも常に朝鮮大学校を心に抱き、総聯の継承者育成事業を物心両面から積極的に支援すべきです。

総聯組織に提起される課題は第三に、在日同胞社会の民族性を固守するための旋風を巻き起こすことです。

民族性は祖国の人民も強くなければなりません、海外に住んでいる同胞であるほどより強くなければなりません。

民族を特徴づける第一の表徴はその民族の血統であり、第二の表徴は言語です。

祖国と遠く離れた異国の地で住んでいる同胞にとって民族の血統を固守するところに愛国の真の姿があり、朝鮮語で話す時間はすなわち愛国で生きる時間です。

総聯は、同胞の間に血縁的つながりを結ぶ手段である朝鮮の言葉と文字を好んで使うことが民族性固守の出発点、愛国の第一歩になるということを銘記し、総聯の組織と団体、機関と学校、家庭など同胞社会のどこでも美しく、優れた朝鮮の言葉が高らかに響くようにしなければなりません。

わが民族の優れた伝統と文化、風習が綿々と受け継がれるようにすることにも深い関心を払うべきです。

総聯の出版・宣伝機関は、わが民族が創造した悠久の歴史と燦然たる文化遺産、単一の血統と高尚な良風美俗を紹介・宣伝することに時間と紙面を惜しんではなりません。

総聯の新しい世代が、団結力と開拓の精神が強く、不正義を憎む朝鮮民族のたくましい気質と、目上の人を敬い、隣人と睦まじく過ごし、父母妻子を愛する朝鮮民族の優れた良風美俗を純潔に受け継いでいくようにすべきです。

同胞の家庭で古くから伝統的に引き継がれている民俗祝日に民族料理をつくって食することを極力奨励し、朝鮮学校でも生徒・学生に朝鮮服の仕立てやキムチの漬け方をはじめ民族料理をつくる方法もよく教え、民族音楽・舞踊サークルも盛んに運営すべきです。

同胞たちが民族服を愛し、好んで着るようにしなければなりません。

チマ・チョゴリは外国で国旗がなくても朝鮮人であることが分かるわが民族の象徴です。

在日朝鮮人女性と朝鮮学校の女学生の間で朝鮮チマ・チョゴリを着るのが同胞社会の立派な風潮、一つの慣例になるようにすべきです。

総聯は民族性固守を全組織的、全同胞的な運動として力強く繰り広げて、在日同胞が世代を継いで異国の地に住んでも絶対に同化しない朝鮮の顔、民族の顔として脚光を浴びるようにすべきです。

総聯組織に提起される課題は第四に、わが国家第一主義時代にふさわしく、祖国の自主的統一と社会主義建設の全面的発展に特色ある寄与をすることです。

わが国家第一主義時代はわが共和国が歴史のあらゆる挑戦を果敢に乗り越え、国の尊厳と地位を高い境地に引き上げた自尊と繁栄の新時代です。

総聯の各級組織と在日同胞はこのような時代に生きている公民としての誇りと栄誉を胸に刻み付け、祖国統一と国の全面的発展のための愛国事業に奮起すべきです。

祖国統一はこれ以上引き延ばすことのできない民族至上の課題であり、総聯と在日同胞に提起されている最も重大な愛国事業です。

総聯の祖国統一活動は本質上、金日成同志と金正日同志が打ち出し堅持してきた一つの朝鮮路線を擁護し、貫徹するための聖なる愛国闘争です。

総聯と在日同胞はわが党と共和国政府の祖国統一路線と方針を積極的に支持・擁護し、それを内外に広く宣伝しなければなりません。

総聯は、民族大団結の旗印の下で「民団」をはじめ組織外の同胞との民族団結事業を強化して統一愛国勢力を一層拡大し、彼らとの共同行動、共同闘争を活発に展開しなければなりません。

総聯は、海外にある朝鮮同胞組織との民族的きずなと連携を緊密にし、全民族的な統一戦線を形成する上で海外中心軸としての役割を立派に果たすべきです。

総聯は、自主、民主、祖国統一のための南朝鮮人民の正義の活動を積極的に支持・声援し、米国と南朝鮮好戦勢力の分裂主義策動を糾弾・排撃する闘争を粘り強く展開しなければなりません。

今、わが祖国は社会主義建設の全面的発展期に入っています。

日進月歩で、時間を争って見違えるほど変貌するのが社会主義祖国の誇らしい現実です。

総聯と在日同胞は、社会主義祖国を断固擁護し、文明・富強の国家建設に積極的に寄与すべきです。

在日同胞は、たとえ身は異国の地にあっても心の中に祖国を抱いて生き、社会主義祖国の絶対的な支持者、徹底した擁護者にならなければなりません。

建国の当初から今日に至る長きにわたってわが共和国を支える礎石となり、大黒柱となったわが人民の不屈の群像の中には、在日同胞の姿がありありと刻まれています。

総聯と在日同胞は、祖国の強盛と繁栄に役立ってきた誇るべき伝統を受け継いで、社会主義強国建設に特色ある寄与をしなければなりません。

総聯はチュチェの革命偉業、総聯の愛国偉業に有利な国際的環境をもたらすための対外活動を能動的に繰り広げなければなりません。

今日、総聯の対外活動の基本的任務は自主、平和、親善の理念の下で日本をはじめとする世界各国人民の間にわれわれの支持者、共鳴者の隊伍を絶えず拡大し、総聯と在日同胞社会の平穏と安定を図ることです。

総聯は、日本各界の人士との活動を伸縮自在に行い、民主勢力、朝鮮の統一を支持する連帯組織との活動に力を入れて、広範な日本人民の間でわが共和国と総聯に友好的な支持者、共鳴者の隊伍を引き続き拡大しなければなりません。

各級組織と団体は、地域の対外活動にも力を入れ、地方自治体が在日同胞の民主的民族権利と利益を擁護するための総聯の活動を積極的に支持・協力するようにすべきです。

総聯は、駐日外国代表部との活動を用意周到に行うとともに国際舞台に積極的に進出して、わが共和国の国益を断固擁護し、総聯組織と在日同胞の愛国・愛族活動に対する支持賛同の声がより大きく響くようにすべきです。

総聯隆盛の新しい時代を開く重大な闘争課題を確実に遂行するためには、新たな環境と時代の要求に即して総聯を組織的、思想的に一層強化しなければなりません。

何よりもまず、チュチェの思想論を揺るぎなく堅持し、在日朝鮮人運動の前進の原動力を倍加させるための思想教育に第一義的な力を注がなければなりません。

総聯隆盛の新しい時代への近道はただ一つ、同胞の心を一致させ彼らの精神力を最大限に発揮させるところにあります。

偉大性教育、愛国主義教育、朝鮮民族第一主義教育、在日朝鮮人運動の歴史と伝統についての教育、信念教育は総聯の思想活動の基本内容です。

総聯は、新しい世代をはじめ同胞の間で偉大性教育を一層強めることによって、祖国から遠く離れた異国の地でも金日成同志と金正日同志の不滅の思想と慈愛深い歴史が永遠に力強く流れるようにすべきです。

思想教育の内容をどれ一つもおろそかにすることなく着実にを行い、偉大性教育をしながらも愛国主義教育、信念教育を行い、朝鮮民族第一主義教育をしながらも在日朝鮮人運動の歴史と伝統の教育を行わなければなりません。

特に、愛国主義教育をわが国家第一主義と密接に結び付けて着実にを行うのが重要です。

総聯の各級組織と機関は、民族最大の祝日と共和国創建記念日、総聯結成記念日などに際し、実情に合わせて国旗掲揚式を恒例化しなければなりません。

各級学校も、わが国家の象徴物についての教育を強めるとともに、入学式や卒業式をはじめとする様々な契機に生徒・学生が愛国歌を歌ったり自分の手で国旗も掲揚したりして、

彼らの大切な夢が常に社会主義祖国とつながるようにしなければなりません。

資本主義社会の日本で行われる総聯の宣伝・文化活動には、公式化された方法や万能の処方などあり得ません。

総聯は、思想活動において形式主義を徹底的に根絶し、同胞が呼応し共感する教育方法を絶えず探究・適用しなければなりません。

出版・宣伝物の浸透力と牽引力を不断に強めなければなりません。

朝鮮新報社と朝鮮通信社は、新聞とインターネットを通じてより多くの同胞に祖国と同胞に関するニュースを迅速に伝え、われわれの文化を絶え間なく波及させるべきです。

在日本朝鮮文学芸術家同盟と金剛山歌劇団をはじめとする各宣伝・文化担当機関と芸術団体の機能と役割をさらに強め、地方歌舞団の公演と各種文芸サークル活動を活発に行って、同胞社会が朝鮮の歌謡、朝鮮の拍子、朝鮮の踊りでにぎわうようにすべきです。

次に、総聯中央をはじめとする各級組織と団体、事業体を一心団結のとりで、愛国・愛族の堅固な城石として固めるべきです。

総聯を一心団結のとりで、愛国・愛族の堅固な城石として固めるということは、外部のあらゆる攻撃や非難から社会主義祖国を断固擁護し、同胞の生と幸福をしっかりと守る鉄壁のようにつくることを意味します。

在日朝鮮人運動の参謀部である総聯中央常任委員会の指導力を全面的に強化しなければなりません。

総聯中央は、組織内にチュチュエの思想体系、指導体系を確立する活動を第一の生命線とし、全ての事業と活動をただ金日成同志と金正日同志の遺訓通りに狂いなく実行しなければなりません。

各級組織と団体、事業体に対する政策的指導を強め、組織の内部活動に大きな力を注ぐことで、隊伍の一心団結を強め、中核の代がしっかりと引き継がれるようにすべきです。

総聯の各県本部の組織掌握力と実践力を絶えず強めなければなりません。

県本部は、在日朝鮮人運動の地域的指導単位であり、総聯中央の地域別補佐単位です。

各県本部は、下部単位に対する事業体系を整然と打ち立て、指導と援助を日常的に行うことによって、中央の決定と指示が立派な結果をもたらすようにすべきです。

各本部の地域差を少なくするための活動も目的意識的に行って、中・小本部が立ち上がり威力を発揮する新しい姿をつくり出さなければなりません。

支部重視、分会重視の思想を確固と堅持し、全ての基層組織を愛国・愛族の光彩を放つ生氣はつらつとした組織に強化しなければなりません。

支部を各階層の同胞の中にしっかりと足を据えた支部、同胞中核が主動的な役割を果たす支部にしなければなりません。

各支部は、非専従活動家を積極的に引き入れて彼らの活動力をさらに高め、支部競争運動を持続的に展開することによって、全ての支部が全体大会の決定を貫徹する上で実際的な実行単位としての使命を果たすようにすべきです。

同胞の基本生活単位であり、末端基層組織である分会が奮発してこそ、全ての組織が強化され、同胞社会の万事が順調に進むことができるのです。

分会建設の最も理想的な目標は、偉大な真理で団結し、熱い情が通い合う温かい同胞コミュニティにつくることです。

総聯は、分会代表者大会を全体大会に劣らず重視し、分会の活動家の政治意識を高めるための活動を深化させて、全ての分会を健全かつ血気旺盛な組織にしなければなりません。

全ての分会は、分会強化のための4大課題を一貫して堅持し、愛国・愛族創造運動を根気よく展開して、同胞の暮らしている全ての所で和睦と団結、愛国・愛族の熱気が絶えず盛り上がるようにすべきです。

また、総聯の階層別大衆団体の戦闘力を一層強めなければなりません。

資本主義社会の日本で家業と生存の重い負担を背負っていても、ひたすら祖国と民族のための道に自身の貴重な全てのものを惜しみなくささげている同胞商工人と新しい世代の青年、同胞女性の熱い真心と愛国心を抜きにして総聯の繁栄と栄える同胞社会は考えられません。

総聯の大衆団体は、思想教育団体としての任務を常に自覚し、全ての会員や同盟員が前世代の気高い精神を揺るぎなく引き継ぐようにするとともに、同胞の志向と要求を反映した大衆運動を盛んに繰り広げる過程を通じて自己の隊伍を強化すべきです。

同胞商工人は昨日も今日も変わらぬ総聯の基本大衆であり、在日朝鮮人運動の主力部隊でもあります。

商工会をはじめとする経済団体は、同胞商工人の企業を保護し、活性化するための適切な対策を迫いつかせ、世界経済の発展動向やすう勢をいち早く把握し、専門化の水準を高めて、同胞の商企業活動を実利が得られるように助けるべきです。

在日本朝鮮青年商工会は、金正日同志によって結成された青年商工人や学父母の世代を網羅している在日朝鮮人運動の主力部隊の後続隊です。

青年商工会は、結成初期に掲げたスローガン「裕福な同胞社会のために」、「子供たちの未来のために」を青商会運動の基本種子、永遠なるテーマとして捉えていかなければなりません。

また、新しい制服を着て朝鮮学校に通う在日朝鮮学生少年の明るい姿に総聯の未来が映るということを常に銘記し、民族教育支援活動を引き続き先頭に立って主導しなければなりません。

総聯隆盛の新時代を目指した栄誉ある進軍路で先鋒隊、突撃隊の旗印は当然、同胞青年が掲げなければなりません。

在日本朝鮮青年同盟は、各級組織の自立性と独自性の向上に重点を置き、同胞青年の心理的特性に合う多様な大衆運動を力強く繰り広げることで、同胞社会を若さによって躍動する青年の舞台、新世代の舞台としてにぎわうようにすべきです。

在日本朝鮮留学生同盟も日本大学に通う同胞青年学生との活動を粘り強く展開して、彼らが朝鮮の精神、民族の魂を持って生きるように導くべきです。

在日本朝鮮民主女性同盟は、全ての在日同胞女性の権利と利益を代表する総聯の最大の団体です。

子女に祖国愛を植えつけ、民族的自尊心を育てくれる初の師も同胞女性であり、同胞の子女の美しい夢を叶え、民族教育の花園を労を費やして手入れする園芸師もほかならぬ在日朝鮮人女性です。

女性同盟の各級組織は、朝鮮学校を拠点に全ての愛国・愛族活動を組織・展開し、在日同胞社会を民族性が強く、睦まじい一つの大家庭につくり上げる上で大きな役割を果たすべきです。

女性同盟は、愛国事業の実践で鍛えられた若い同胞女性たちを積極的に押し立てて彼女らが代を継いで在日朝鮮人運動の片方の車輪をしっかりと推し進めるようにすべきです。

次に、在日朝鮮人運動の指揮メンバーである総聯の活動家の活動方法と作風に根本的な転換をもたらさなければなりません。

総聯の活動家は在日同胞の運命を自ら担い、愛国の道を歩む職業的な政治活動家であり、わが祖国が最も大事にし、押し立てる海外の革命同志です。

わが祖国は総聯の活動家に、日本に住む朝鮮人の尊厳と運命を全的に託しており、全ての活動家が不退転の覚悟と熱情を抱き、祖国と民族から与えられた使命と本分を全うすることを期待しています。

全ての総聯活動家は正しい大衆観点を確立し、骨身を惜しまず各階層の同胞との活動を立派に行わなければなりません。

総聯の活動家は同胞大衆を最も大切に有力な存在と見なし、天のごとく敬い、常に同胞の中に深く入って彼らの力を信じ、彼らに依拠して活動すべきです。

常に同胞と共にいながら、肉親と家事を相談するように同胞たちと膝を交えて持ち上がった問題の解決方途を見だし、彼らの精神力を奮起させて万事を解決していくことを慣習化しなければなりません。

自分の管下の同胞たちの心を隅々まで汲み取り、それに合わせてもろもろの活動方法を駆使して大衆との活動を斬新に行わなければなりません。

総聯の活動家は同胞たちを限りなく尊敬し、同胞大衆を鑑として常に自身を省みながら絶対に初心を忘れてはなりません。

全ての総聯活動家は「同胞に滅私奉仕しよう！」というスローガンをより高く掲げて、同胞たちの幸せな生活と安泰のために心魂を傾ける誠実かつ勤勉な忠僕にならなければなりません。

同胞への熱烈な愛と献身、活動家と同胞の間に行き交う温かい情はすなわち総聯の力です。

総聯の活動家は同胞の要求が百、千であっても、どれ一つとしておろそかにせず、全てを最高の水準で解決するために靴の底がすり減るほど走りに走らなければなりません。

総聯の活動家は独り暮らしの孤独な同胞には孝心の厚い子供になり、生活上の苦衷をなめる同胞には睦まじい兄弟・姉妹になり、むし暑いときには涼しい風に、寒いときには焚き火になって同胞の面倒を見なければなりません。

総聯の活動家は、生活に困っている同胞であるほどもっと気遣い、性根がゆがめられた同胞であるほどもっと近寄って彼らの生活上の苦衷や心のわだかまりを解き、高い人格と広い度量をもって全ての同胞を懐に抱いて愛国・愛族の道に導かなければなりません。

全ての総聯活動家は、わが同胞のあらゆる夢と理想を立派に叶えてやろうとする祖国の切実な頼みを肝に銘じ、同胞への厚い愛と献身的奉仕精神をもって、在日朝鮮人運動の新たな勝利に向けて一層力強く邁進しなければなりません。

総聯重視、海外同胞重視はわが共和国の永遠なる国策です。

わが党と共和国政府は、金日成同志と金正日同志の愛国遺産である総聯を何よりも大事にしあらゆる面から守るでしょうし、格別な情を傾けて『祖国の愛は暖かい』の歌声がチュチェの海外同胞運動史とともに永遠に鳴り響くようにするでしょう。

私は全ての大会参加者が、総聯隆盛の輝かしい設計図に沿って貴重なわが同胞のために、愛するわが次世代のために、勇気百倍して進むであろうことを確信しつつ、総聯第 25 回全体大会が在日朝鮮人運動の新たな全盛期の高峰を目指して突き進む偉大な転換の里程標として立派に飾られるよう期待します。

朴久好第 1 副議長の朝鮮総聯中央委員会活動報告 (要旨)

金日成主席生誕 110 周年、金正日総書記生誕 80 周年を迎える民族史的大慶事の年であり、金日成主席が存亡の危機に瀕した在日朝鮮人運動を救い路線転換方針を出した時から

70 年になる歴史的な年にかかれる総聯第 25 回全体大会は、主席と総書記を民族の永遠なる太陽としてより高く仰ぎ、金正恩総書記の指導に従って在日朝鮮人運動発展の新しい里程標を立てる一心団結の大会、継承と革新の大会だ。

今大会は総書記がチュチェ偉業の最高位に推戴された時から去る 10 年間に成し遂げた不滅の業績を総聯事業により徹底的に具現して、偉大な金正恩時代の在日朝鮮人運動の全面的発展のために大きく歩み出し、総聯隆盛の新時代を切り開くことを内外に宣言する大会というところにその歴史的な位置がある。

私たちは本大会で、去る 4 年間、急変した情勢と総聯結成以来の厳しい難局を果敢に乗り越え刻苦奮闘して収めた貴重な成果を誇り高く総括し、遂行できなかった事業と生じた欠点、その原因と教訓を発展的見地から分析したうえで、総書記が送ってくれた書簡を貫徹して愛族愛国運動を新たな発展段階に押し上げるために提起される 4 年間の活動方向と注力すべき課題、遂行方途を討議、決定することになる。

1. 第 24 期活動の総括

総聯第 24 回全体大会以後、こんにちに至る総括期間は、総書記の賢明な指導によってわが国が最悪の国難の中でもチュチェの偉業が新しい発展段階に入った歴史的な期間だった。

総聯にとって去る 4 年間は、祖国人民らと共に、総書記の偉大性に魅惑され総聯を組織思想的にさらに強化し、新たな全盛期を切り開くための愛族愛国運動に拍車をかけてきた誇らしい期間だった。

総括期間、総書記は金日成主席と金正日総書記の愛と心を込めて在日朝鮮人運動を勝利の一途に温かく導いてくれた。今年 2 月には最高人民会議第 14 期第 6 回会議において海外同胞権益擁護法を採択して、在日同胞をはじめとする海外同胞の権益を祖国の法的保護の下で徹底的に保障する格別な措置を講じてくれた。

総括期間は総聯結成以来なかった実に厳しい試練の時期だった。

米国とその追従勢力はわが国の自主権と生存権、発展権を奪おうと圧迫攻勢と制裁封鎖策動を敢行した。

日本の反動層は総聯に対する不当な制裁と弾圧騒動、民族教育に対する差別と在日同胞に対する人権侵害をさらに悪らつに敢行し、反共和国、反総聯、反朝鮮人の殺伐とした雰囲気醸成した。

また総括期間、世界的な伝染病の大流行によって総聯のすべての活動が抑制される状況の中で、愛族愛国運動は大きな試練を経なければならなかった。

総聯は未曾有の試練の中でも、総書記がいれば必ず勝つという不屈の信念と愛国の心で、あらゆる挑戦と威嚇を果敢にはね除け、祖国を擁護し、総聯組織を死守し、在日朝鮮人運動の新たな全盛期を繰り上げるため力強く前進した。

1) 総括期間、総聯を朝鮮の海外公民団体として強化・発展させるうえで貴重な前進を成し遂げた。

総聯は中央から分会に至る各級組織の中に総書記の唯一的指導体系を確立するための活動、偉大性教育をはじめとする宣伝教育活動を繰り広げた。

太陽節と光明星節をはじめ主要記念日ごとに、中央と本部で大会と慶祝公演、講演会、写真展など多彩な行事を行った。

総聯は一心団結をはかるため組織内部事業を一貫して先行し、本部の組織指導力と支部

の活動力を高めることに最優先的な力を入れた。

また 24 期期間、分会と団体の基層組織を強化するための大衆的革新運動と 5 カ月集中戦を繰り広げ、昨年は「総聯分会を強化する年」と定めて、総書記が「総聯分会代表者大会 2020」(新全盛期 3 回大会)参加者に寄せた祝賀文を貫徹するために全組織と活動家、分会委員たちを奮い立たせた。

その結果、新たに 154 の分会を再建・活性化し、同胞らが広域に散らばって暮らす中小本部で新たに 8 の支部を再建したことは、総括期間に総聯組織建設で収めたもっとも貴重な成果である。

商工会、朝青、女性同盟、青商会、留学同など総聯の各団体は基層組織を強化し、愛族愛国の課題を遂行するための革新運動を繰り広げた。

2) 総括期間、総聯は在日同胞の幸せと次世代の未来を担保するための活動に総力を傾けた。

総聯は、民族教育を組織建設と愛国活動の中心に据えて、次世代の教育に総力を傾けなければならないという総書記の教えを高く奉じ、日本当局の差別的で露骨な民族教育弾圧策動の中で、民族教育を固守・発展させるための活動を展開した。

各級学校では民族科目教育をさらに強化し、早期英語教育の実効性を高め、教育の ICT 化方針に沿って電子教科書と電子黒板を活用した授業を実施する貴重な経験を創造した。また、悪性ウイルスが蔓延する中でも遠隔教育を積極的に推進してオンラインで授業を責任を持って実施することによって民族教育の優位性を内外に誇示した。

朝鮮大学校は、総書記が寄せた祝電を高く掲げ、学生たちを民族の人材、有能な活動家に育成・輩出し、教育設備と厚生施設を更新して人工芝の運動場を新たに整備するなど大学の環境をさらに整えた。

総括期間、在日朝鮮人中等教育実施 75 周年と朝鮮大学校創立 65 周年、教育援助費と奨学金の配慮 65 周年を輝かせ、各地で学校創立記念日に際した行事を盛大に開催し、これを機会に民族教育を固守・発展させる活動を全同胞的に展開した。

24 期期間、青商会出身の力強い熱誠者たちを教育会理事に登用して「学校サランー口運動」をはじめ学校支援活動を活発に繰り広げ、東京第 3 初級、名古屋初級、南大阪初級が新校舎を立派に建て、埼玉初中、茨城初中高、神戸初中、西播初中をはじめ多くの学校が教育設備を近代的に更新した。

総括期間、総聯は在日同胞社会で民族性を守るための民族文化活動と体育活動を中断なく展開した。

さらに総聯は、在日同胞の民族的権利を擁護し、同胞の生活と生命安全を守るための活動を行った。

とくに幼保無償化中央対策委員会の主導のもと、大規模集会とデモ行進を行い、「100 万人署名運動」を展開し、日本政府と地方自治体に対する要請活動を繰り広げた。こうして日本政府に、幼保無償化から除外した朝鮮幼稚班を新しい支援策の対象に認めさせる貴重な成果を収めた。

総聯は、同胞らの生命安全を守るための防疫活動に総力を尽くすよう求めた総書記の言葉を胸に刻み、困窮する同胞らの生活を支援するための防疫活動と奉仕活動に総力を傾けた。

3) 総括期間、総聯は祖国の自主的統一と富強繁栄、対外活動の 3 大愛国課題の遂行において前進を遂げた。

総括期間はわが国の善意と主動的な措置によって対米関係と北南関係において成し遂げられた肯定的な情勢が米国とその追従勢力の反朝鮮策動によって急変し、朝鮮半島をめぐる政治軍事的環境がさらに厳しくなった時期だった。

総聯は南朝鮮人民に北南関係の原則的な立場をはじめ朝鮮の祖国統一方針の正当性をさまざまな方法で知らせ、在日朝鮮人平和統一協会は講演会、討論会、ユーチューブ放送「平統 TV」などを通じて宣伝活動を特色をもって繰り広げた。

総聯は、激変する情勢に対処して日本各界の人士たちと広範な市民らとの友好・親善活動を活発に繰り広げた。

意義深い太陽節と光明星節に際した記念集会や学習会、講演会などを定期的に行い、チュチェ朝鮮の真の姿を積極的に知らせた。

日朝国交正常化推進議員連盟が再構築され、朝鮮統一支持日本委員会と平和フォーラムとの連帯をさらに強化し、多くの労組と有力な社会団体を朝鮮半島の平和と統一、日本の過去清算問題解決のための活動に広範に網羅した。

また、朝鮮学校に対する差別的な風潮の中で、学校を拠点とする地域密着の対外活動を活発に繰り広げた。

総聯は、日本当局の朝鮮に対する経済制裁と世界的な保健危機状況で祖国往来が困難な中でも祖国の社会主義強国建設に寄与する活動を特色をもって展開した。

総括期間、総聯結成以来最も困難な中でも愛族愛国運動をねばり強く繰り広げて貴重な成果を収めることができたのは、金正恩総書記の思想と指導に沿えば必ず勝利するという信念を抱いて総聯組織の一心団結と同胞たちとの渾然一体の威力をもって試練を乗り越えて運動を活発に繰り広げてきたからだ。

私は在日朝鮮人運動の新たな全盛期をたくり寄せるための活動に積極的に寄与したすべての総聯活動家と非専従熱誠者たちに本大会の名義で熱い謝意を表す。

私は祖国の隆盛繁栄と統一のため、総聯愛国事業の発展のために一生を捧げ、総括期間に亡くなった総聯中央委員、愛国的商工人、在日同胞たちを追慕し、遺族の方々に敬意を表す。

2 金正恩時代の在日朝鮮人運動の全面的発展のために

1) 今日わが祖国は、自尊と自立で富強発展する社会主義強国への新たな境地を力強く切り開いている。

祖国は世界的な軍事強国の威容を全世界に誇示し、国の安全をしっかりと担保する一方、経済強国建設のあらゆる分野において新しい基準、モデルが創造され、社会主義文化建設全般が新しい発展段階に入っている。

わが祖国は試練の中で固めてきた主体的力を前進の動力として防疫事業においても必ず勝利し、強力な国家経済力を増幅して、わが国家第一主義の新時代、人民の幸福が満開する新時代を必ずたくり寄せるだろう。

2) 総聯は総書記の指導に従って祖国と足並みを共にして在日朝鮮人運動の全面的発展のため、総聯隆盛の新時代を力強く切り開くためまい進するだろう。

私たちは 25 期期間中の 2025 年に総聯結成 70 周年を迎える。

70 年の歴史を刻む総聯は、金日成主席と金正日総書記、金正恩総書記の主体的海外公

民運動思想の正当性と生命力を全世界に誇示し、在日朝鮮人運動の新たな全盛期を切り開き、愛族愛国運動を全面的に発展させていかなければならない。

在日朝鮮人運動の全面的発展とは、総聯の県本部と支部、分会、団体組織が格差なく発展の軌道に乗り、愛族愛国活動のすべての部門が一様に活気を帯び、国と民族のために寄与する総聯隆盛の新時代を切り開くということだ。

総聯第 25 期活動の総体的方向は、金正恩総書記の思想と指導を忠誠で高く奉じて総聯の組織思想的威力を決定的に強化し、隆盛繁栄する祖国と共に在日朝鮮人運動の全面的発展期、総聯隆盛の新時代を確固として切り開くところにある。

私たちは 25 期活動の総体的方向に沿って、本大会で討議・決定する主要課題を、総聯結成 70 周年を迎える 2025 年まで遂行することになる。

在日朝鮮人運動の全面的発展、総聯隆盛の新時代を担保する力は、総書記が書簡で明らかにしたように総聯と同胞の渾然一体の威力であり、このためには総聯の全般的な活動で同胞第一主義をより徹底的に一貫させることだ。

同胞第一主義は同胞たちのために存在し、同胞たちに依拠して活動する総聯の本質的要求であり、総聯が刻苦奮闘して在日朝鮮人運動の全面的発展を成し遂げていくのは在日同胞の幸福と次世代の明るい未来を確固として担保することにその目的がある。

総聯活動家は同胞の中に深く入り同胞たちの精神力を奮い立たせ、同胞らの声に耳を傾け、同胞大衆の意思と要求に沿ってすべての問題を解決する時にだけ在日朝鮮人運動が全面的発展を遂げるということを総聯活動の鉄則としていく。

在日朝鮮人運動の全面的発展のためには、総聯をより強い、躍動する磐石の組織にしなければならない。

在日朝鮮人運動を取り巻く情勢と環境が依然として厳しく、さらに先鋭化されることを鑑れば、総聯が困難を乗り越えて新たな勝利を達成するためには私たち自身の力、内的動力の強化を最優先すべきである。

主体的力を強化するための秘訣は、収めた成果からも欠点を探し出す姿勢、生じた欠陥は躊躇なく冷酷に明らかにし、これを是正・克服するための現実的な対策と大胆な活動目標を立てて、強い規律の下で執行する原則と気風を高めることだ。

25 期の活動は、過去に収めた成果を継承しながら、総聯と在日朝鮮人運動の全面的発展のために革新的な目標を立て、新たに跳躍する名実ともに飛躍の期間である。

3 第 25 期総聯活動の主要課題

総聯はすべての組織の中にチュチュエの思想体系、指導体系をより徹底的に立て、金正恩総書記の総聯指導構想を愛族愛国活動に抜かりなく具現していく。

1) 総聯は宣伝教育活動において形式主義を根絶して、思想の威力をもって愛族愛国運動を力強く行っていく。

思想の威力で難局を打開し、愛族愛国運動を前進させていくのは昨日も今日も変わらない総聯の特有な活動方式だ。

主体的力量を強化して在日朝鮮人運動の全面的発展へとまい進していくためには宣伝教育活動から根本的な変革を起こさなければならない。

(1) 総聯は偉大性教育をはじめとする 5 大教育を中心に宣伝教育活動を繰り広げる。

総聯は専従活動家学習班の密度と実効性を高め、非専従活動家学習班、分会学習会を正常運営すると同時に、社会科学者協会会員を中心に強力な研究集団を組織して理論研究と

宣伝教育資料の作成・普及を行う。

(2)総聯は同胞らが好み、認め、呼応する宣伝の形式と方法を絶え間なく創造し、宣伝教育網を広げる。

各級組織と団体は大衆講演会を計画的に運営し、これにオンラインネットワークをはじめ情報通信手段を積極的に導入してより多くの同胞らを網羅する。

また各級機関で発行する出版物を対象化、通俗化して読者を大幅に増やし、朝鮮新報電子版を活用した宣伝活動を活発に行う。

2)総聯は各級組織の機能と役割をいっそう向上し、同胞たちが住むすべての所に基層組織をもれなく整える。

在日朝鮮人運動の地域の指導単位である総聯本部と末端指導機関である支部の組織力と活動力が高く、同胞らの基本生活単位である分会をはじめとする基層組織がしっかりしてこそ主体的力量と群衆の地盤を大きく拡大できるということは総聯事業の基本原理だ。

(1)総聯本部常任委員会をしっかりと整え、その機能と役割を決定的に高める。

総聯本部は本部委員長の責任のもとで、本部常任委員会の政策的指導と各級組織に対する把握力、決定執行力を高めることで、遂行できなかった点と欠陥を批判的に明らかにし、是正・対策する。

(2)総聯支部を愛族愛国運動の地域的拠点にさらにしっかりと整え、活発に動くようにする。

総聯は総聯支部委員長たちの責任と役割を高めることに引き続き大きな力を注ぎ、25期期間に専従活動家のいる支部を増やすことを基層組織強化のための主な目標の一つとする。

(3)総聯は分会を重視し、強化することに総力をあげる。

「総聯分会代表者大会 2024」(新全盛期 4 回大会)を、「新全盛期愛族愛国模範創造運動」を同胞大衆主人型、同胞大衆参加型として一新させた実績をもって迎え、25 期期間に有名無実化したり活動が低調な分会と支部を再建、活性化するための活動を繰り返し広げて、すべての基層組織が愛族愛国の光彩を放つようにする。

(4)総聯は階層別団体をしっかりと整備し、その役割を高めるようにする。

(5)総聯は新たに同胞を探し出す運動を力強く繰り返し広げて、各階層の同胞らとの活動で新しい局面を切り開くことによって在日同胞社会の幅を広げる。

3)総聯は同胞青年たちを総聯の代を継いでいく頼もしい継承者、交代者に育てることに大きな力を入れる。

こんにち在日朝鮮人運動を全面的に発展させ総聯隆盛の新時代を切り開くうえで差し迫っている問題は、先代が築いた忠実性の伝統、一心団結の伝統、愛族愛国の伝統を新しい世代が継承し、全組織が新しい世代を前面に押し立て、彼らの力を原動力として愛族愛国運動を革新することだ。

(1)総聯は新しい世代の活動家の拡大と育成のための活動に格別な力を集中する。

(2)朝青、青商会、留学同の青年団体を強固にし、その役割を大きく高める。

4)総聯は同胞第一主義を徹底的に貫徹して同胞らの權益を擁護し、同胞らの生活便宜を図

るための奉仕活動を全組織的に繰り広げる。

日本当局と反動勢力の悪らつな策動で、民族排他と人権侵害が日本社会に蔓延し、同胞らの生活と利益が脅やかされているこんにちの状況は、総聯が在日同胞の權益擁護団体としての基本使命と任務を責任をもって遂行することを切迫に求めている。

(1)総聯は在日同胞の民主主義的民族権利を擁護・拡大するための闘争を全組織的に展開する。

総聯は日本当局の不当な対朝鮮制裁措置と在日同胞に対する差別行為に反対し、総聯の合法的活動と祖国往来をはじめとする同胞らの人権と生活権を保障するためたたかう。

(2)総聯は同胞らの生活上の苦悩と困難を解決するための奉仕活動をさらに活発に繰り広げる。

総聯は「同胞生活相談総合センター」と支部相談センターをもれなく再整備、正常化することに注力し、非専従熱誠者らで「地域相談員」を整備することによって同胞生活の常設的な相談機構としての機能と役割を決定的に高める。

総聯の各級組織は、高齢者介護施設とミニデイの専門化水準を高め、高齢者をはじめとする同胞らの保健予防と健康増進のための活動を積極的に行い、障害がある同胞とその家族、子育て世代の同胞らに対する生活支援活動をさまざまな形態で繰り広げる。

5)総聯は民族教育を強化・発展させ、在日同胞の中で民族性を守るための活動に総力をあげる。

(1)総聯は民族教育を愛族愛国運動の中心に据え次世代教育に全組織的、全同胞的な力を入れる。

民族教育で主体性と民族性を育み、朝鮮語をはじめ民族的素養を培い、学習と集団生活で児童・生徒たちを思想精神的に健全で、実力の高い民族人材に育てる朝鮮学校の優越性をさらに大きく誇示する。

また知識経済時代の要求と同胞保護者らの趣向に合うよう早期英語教育を初級部低学年から実施し、教育の ICT 化を引き続き推進していく。

2026 年に創立 70 周年を迎える朝鮮大学校は、高い科学技術知識と専門知識を備えた有能な人材をさらに多く輩出し、世界に唯一の海外同胞大学としての面貌を革新していく。

総聯は、児童・生徒数の減少を食い止めることができない状況を打開するため、民族教育対策委員会を学区を単位に再編成し、児童・生徒募集活動を全機関的な事業として展開し、幼稚班教育をより充足させて 2 歳保育班を拡充する。

(2)総聯は民族文化活動、大衆スポーツ活動を旺盛に繰り広げて在日同胞社会がいつも仲睦まじく、民族的情緒に溢れるようにする。

総聯支部を拠点に民族文化教室を運営して同胞の中で朝鮮語と民族文化を学ぶ運動を高め、支部と分会に文芸スポーツクラブを組織し、多様な文化体育活動を繰り広げていくようにする。

6)総聯は祖国の統一と社会主義強国建設にある貢献活動を行い、対外事業を活発に繰り広げる。

(1)総聯は主体的な統一愛国力量を決定的に強化して、自主統一運動を新しい段階へ発展させることで自らの使命と任務を果たしていく。

総聯は祖国解放 80 周年になる 2025 年を目指して、民族自主の旗印のもと北、南、海

外の連帯連合を強化し、北南宣言を支持・実現するための全民族あげての運動を大きく高揚させていく。

また、米国と南朝鮮守旧反統一勢力の戦争策動を阻止し、自主統一の活路を開くための連帯運動に積極的に合流する。

(2)総聯は祖国の国際的威信を高め、愛族愛国運動の有利な環境を作るための対外活動を能動的に行う。

総聯は飛躍する朝鮮の真の姿を広く知らせる宣伝活動を展開し、朝・日平壤宣言 20 周年を契機にその履行を促す世論を喚起していく。

総聯の合法的地位と民族教育権を擁護する活動を基本に、地域密着の対外活動を幅広く行う。

(3)総聯は社会主義の全面的発展のため奮い立っている祖国の人民らと共に祖国の社会主義建設に寄与する特色ある活動に取り組む。

4 総聯活動家の組織思想生活を強化し、事業能力と役割を決定的に高めることについて

今日総聯活動を新たな発展段階へ引き上げることで提起される大事な問題は、活動家の政治思想的レベルと組織活動能力を向上させる問題だ。

1)総聯は組織内部の事業に引き続き優先的な力を注ぐ。

2)総聯活動家は同胞たちの精神力と愛国的熱意を奮い立たせる組織者、宣伝者としての役割を果たす。

◆来賓あいさつ

日本維新の会・国会議員団副代表 鈴木宗男参院議員

私が政治家としていつも考えていることは、隣国とは折り合いをつけなければいけない、仲良くしなければいけない、ということだ。

そういった意味で朝鮮、韓国、中国、ロシアは日本にとっては隣国だ。個人であれば、となりに気に食わない人や、嫌な人がいれば付き合わなくていいし、引っ越しもできる。しかし国と国は、引っ越しはできない。この点を私たち政治家はしっかり認識しなくてはいけないと思う。

私の政治家としての師匠は中川一郎先生だ。中川先生は生前、韓国と大変近しかったが、北海道の在日朝鮮人の方々とも友好関係を築いていた。私は秘書としてその姿をみてきた。その後私は、金丸信先生にも大変お世話になった。(金丸先生が)私に言っていたのは「金日成主席にお会いした時、まれにみる大きなオーラで、会った瞬間からなんとも言えぬ思いがした」と。いま日本の政治家に金丸先生のような人がいればと思いつつも、まずは私自身が政治家として、隣国との友好、信頼関係の構築について、とりわけ未来志向で考えていきたい。勉強不足な点はあるが、そうして役割を果たしていきたいと思う。

私は政治家として、信念をもって自分の思いをしっかりと訴えて生きてきた。今後もそれが変わることはない。隣国との折り合い、そして友好のために、これからも政治家として汗をかいていきたいし、お役に立ちたい。お招きいただき心から感謝を申し上げる。

立憲民主党・国際局長 源馬謙太郎衆院議員

朝鮮総聯が 67 年の長きにわたり外交関係のない日朝両国の架け橋として活動されてきたことに思いをはせている。両国の歴史的懸案が、日朝平壤宣言にしたがい包括的に解決され、不幸な過去を清算し、日朝国交正常化が実現されることが望ましい。

現在、政府間の協議が途絶えたのは非常に残念だ。双方の信頼を構築するため、対話によって問題を解決することを切に願い、日本政府が状況を速やかに進展させるべく努力していくことを強く求めている。

前回の大会は 4 年前、2018 年に開催されたと聞いたが、その後、新型コロナウイルス感染症の発生、気候変動による自然災害、資源高騰など国際情勢が大きく変化した。また 2016 年には、ヘイトスピーチ解消法が成立したが、残念ながらヘイトスピーチやヘイトクライムはなくなっていない。立憲民主党は自由と多様性の尊重を基本理念にし、あらゆる差別に対し断固として闘う立場から、皆さんが不当な民族差別、人権侵害をうけることなく、安心して生活できるよう取り組んでいく。

さらには北東アジア地域の平和と安全のために、近隣諸国との関係をより重視し、力による政策ではなく真の平和と緊張緩和のための友好関係を築くために近隣諸国と皆さまとの連携に一層の努力をしていく。

社会民主党 服部良一幹事長

総聯第 25 回全体大会がかくも盛大に開催されていることを心からよろこび申し上げます。戦後 77 年が経過したが、日本の戦後清算は、日朝の国交樹立と戦後処理の清算が終わらない限り、終わらないと思っている。

日朝の関係正常化、そして日本が帝国主義時代に犯した戦争犯罪をきちんと謝罪して賠償する、これを成し遂げない限り、日本の良心がどこにあるのかと世界から批判されても仕方がない。私たちはそのような思いで、皆さんとの友好連帯を築いていきたい。

日本を決して軍事国家にさせてはならない。憲法 9 条を守り、平和憲法の理念のもと、世界に平和を発信できる国であってほしい。そのことを日本の有権者に訴えていきたい。

いま、一部の日本の政治勢力は、軍事費を 2 倍にするとか、あるいは「敵基地攻撃能力」の名称を「反撃能力」に変更することを求めるとか、米国の核を共有するとか、危険な動きや発言を繰り返している。

一方で台湾有事を煽るなどの動きもあるが、沖縄がふたたび戦場になってはならない。戦争は絶対にダメだ。外交によって、そして隣国同士、お互いの立場をしっかりと尊重しながら、共生社会をつくっていかねばならない。

教育や生活などの諸権利が平等に保障される社会を築いていくために、党として全力で闘い抜く決意だ。

フォーラム平和・人権・環境 藤本泰成共同代表

昨今、ウクライナとロシアの兵士が共に傷つき亡くなっている。米国は、その手を汚さず、兵器を提供し、ウクライナをロシアと戦わせている。米国が圧倒的に軍事力を施してきたこれまでとは、違う形で戦争を行っていることは明らかであり、大国の横暴とみてと

るのは私だけであろうか。

米国は自由と民主主義を守るとして第 2 次世界大戦などさまざまな戦いをやってきたが、私たちは、米国の戦いが正義に基づくものではないということを、決して忘れてはいけない。

また敗戦国の日本はアジアに位置する国であるにも関わらず、米国に追従し、中国や朝鮮、ロシアに銃口を向ける立場をとっている。

私たちは日本が過去の歴史の反省に立ち、武器を持たず、平和主義に基づいてアジア諸国との友好関係を築いていくことを求めて闘い続けたい。

琉球民族は琉球処分によって、アイヌ民族は北海道開拓政策によって、朝鮮民族は軍事力によって植民地とされた。その植民地主義は、敗戦後も日本でそのままの形で存在している。

日本社会における植民地主義を克服し、それぞれの民族のアイデンティティーを尊重し、本当の意味で、多文化、多民族共生社会を作り上げていかなければ日本の価値ある未来を作りあげることができない。

平和フォーラムは、私たち自身の未来と権利のために、植民地主義を克服し、みなさんとともに生きる社会を作っていきたい。朝鮮総聯に集う皆さんとともに、最後まで闘い続けることを誓い申し上げる。

朝鮮の自主的平和統一支持日本委員会 日森文尋議長

総聯 25 回全体大会の開催を祝い、成功と、さらなる飛躍を期待している。

総聯は、結成以来、在日同胞の生活圏、民族的権利を守り、祖国の発展と南北統一の実現に向けて、闘ってこられた。

金正恩総書記は、朝鮮人民革命軍創建 90 周年慶祝閲兵式で「われわれの核戦力の基本的使命は戦争を抑止することですが、この地でわれわれが決して望まない状況が醸成される場合にまで、われわれの核が戦争防止という一つの使命にだけ束縛されているわけにはいきません」と述べられた。このように踏み込んだ発言は、ウクライナ情勢に乗じて制裁強化を講じたバイデン大統領への警告だと考える。バイデン大統領は、かれが副大統領の時代からウクライナに多額の利益をもたらし、ロシアに対する挑発を続けてきた。

私たちは、朝鮮の立場をしっかりと支持したい。

一方、日本政府は軍事費の倍増、中国への対抗を念頭にしたインド太平洋経済枠組み (IPEF) への積極参加など、アジアの平和統一に逆行する政策をとっている。朝鮮に対してもウクライナ問題に乗じて新たな制裁強化や在日朝鮮人への差別政策を講じ、とりわけ朝鮮学校への弾圧は目を覆うものばかりだ。こうした事態への抵抗を一層強めなければいけない。

力は十分ではないが、朝鮮との連帯を一層強化し、同時に、全国の日朝友好団体の力が総結集されるよう努力していきたい。朝鮮の平和統一と、日朝国交正常化の実現に向け、ともに力を合わせましょう。

チュチェ思想国際研究所 尾上健一事務局長

総聯第 25 回全体大会の成功を心から喜び、その意義深い日に、私をお招きくださったことにお礼を申し上げます。

金日成主席が太陽であるなら、朝鮮総聯は太陽に照らされる月だとも言える。私は朝鮮総聯を通して金日成主席を知り、チュチェの祖国に行ってみたいと思い、総聯の方々の協力で平壤の地を踏むことができた。朝鮮に行ってみて、金日成主席が、朝鮮人民は言うま

でもなく、世界人民へのあたたかい愛と信頼を強く持った方だとわかった。

1975年4月、金日成主席との初めての接見を受けたとき、私はまだ20代の大学生だった。主席は「チュチェ思想という火は、今はまだ小さいけれど、正しい思想なのですから、今後、一点の火花が燎原の炎となるように、世界に大きく広がるでしょう。ともに助け合い、チュチェ思想を求める世界の人々の要求に応えていきましょう」と励ましてくださった。チュチェ思想を世界人民のために広げようという主席のお気持ちを知り、私は深く感動した。

1978年4月9日、東京においてチュチェ思想国際研究所創立大会が、朝鮮総聯の多大なご協力により、10カ国、800人が参加し盛大に開催された。現在、チュチェ思想は自主平和を求める各国の人々に支持され、世界に大きく広がっている。

この間を振り返ると、偉大な指導者、朝鮮総聯、チュチェ思想国際研究所、そして世界人民が一つになり、チュチェ思想研究・普及活動を発展させてきた過程であるということがわかる。この混然一体となって活動してきた誇りを胸に私はこれからも朝鮮、そして朝鮮総聯の皆さんとともに、チュチェの道を最後まで生きていこう。

日本朝鮮学術教育交流協会 藤野正和会長

総聯第25回全体大会の開催を心よりお祝い申しあげる。今大会は、金日成主席の生誕110周年、金正日総書記の生誕80周年、さらには、金正恩総書記が朝鮮労働党の最高の地位に推戴されて10周年となる記念すべき年に開催された。

近代日本は、朝鮮を植民地支配し、朝鮮人民の土地や言葉、名前を奪い、さらには多くの朝鮮人労働者を強制連行し、奴隷として虐げたことは周知の事実だ。私は長い間、高校で教師を務めていたが、そのことをしっかり生徒に教えてきた。

1945年の敗戦で、日本は朝鮮に対する植民地支配を謝罪し、償わなければいけなかった。にもかかわらず、歴代の政府が、朝鮮に対する植民地支配の歴史的責任を認めたことは一度もない。それどころか、植民地支配を肯定し、美化するような姿勢をとっている。これは日本人が歴史と正しく向き合うことを阻害する最大の要因となっている。

日本政府は、奪われた言葉、文化、民族性を取り戻すために在日朝鮮人自らが設立した朝鮮学校に対し、財政支援を行うどころか徹底的に弾圧を行い、民族教育を抑圧してきた。その姿勢は、植民地支配した当時となんら変わらないものだ。

高校無償化からの朝鮮学校排除など、いまでも一貫した差別政策が続けられているが、多文化共生といいながら、朝鮮にかかわるものはすべて排除する日本の姿勢は非道でありなんとしてでも正さなければいけない。

日本朝鮮学術教育交流協会は、これからも、民族教育を守るさまざまな闘いを行いながら、民族教育の発展と、日本における多文化共生社会の実現に向けて活動していく。

日朝友好女性ネットワーク 坂本洋子代表

総聯第25回全体大会の開催にあたり、お祝いと連帯を表明し、今年、金日成主席生誕110周年を迎えられたことも重ねてお祝い申し上げます。

故・金日成主席と親交があった故・清水澄子さんの遺志を継いで、2019年の訪朝を機に設立したのが日朝友好女性ネットワークだ。日朝国交正常化を願い、朝鮮の人々との交流を重ね、在日朝鮮人の皆さまと手を携えて活動している。

今年は、日朝平壤宣言から20周年の節目の年でもある。日朝平壤宣言には、日本側が過去の植民地支配によって朝鮮の人々に多大な損害と苦痛を与えたという歴史の事実を謙虚に受け止め、痛切な反省と心からのお詫びの気持ちを表明したと記されている。

しかし、歴史の事実を謙虚に受け止めることなく、事実を歪曲するような言動が日本の政治家から散見される。そして、それをメディアが拡散するという極めて残念な状況が続いている。私自身は、一昨年に亡くなられた広島県朝鮮人被爆者協議会の李実根会長から、1999年に陳情を受けて、在朝被爆者問題に取り組んだのが、日朝問題に関わるきっかけだった。残念ながら2007年以降、この問題は一步も進んでいない。高齢の被爆者を救う時間は限られており、日本政府は、在日の被爆者を誰一人救えなかったとならないよう、一日も早い解決に向けて動かなくてはならない。

世界の状況は混沌としており、今こそ分断ではなく、信頼関係を作ることが最も重要であると痛感している。日朝友好女性ネットワークは、民間団体ではあるが、日朝友好の活動をさらに広げ、両国の友好、関係改善の一助となれるよう力を注ぐ所存だ。

朝鮮本国と日本の各団体、海外親善団体などからの祝電・ビデオメッセージ

祝電

- ・朝鮮民主主義人民共和国 文化省
- ・朝鮮民主主義人民共和国 教育委員会
- ・社会主義愛国青年同盟 中央委員会
- ・朝鮮職業総同盟 中央委員会
- ・朝鮮社会主義女性同盟 中央委員会
- ・ロシア高麗人連合会
- ・在カナダ同胞全国連合会
- ・在オーストラリア同胞全国連合会
- ・在ドイツ同胞協力会
- ・日朝国交正常化推進議員連盟会長 衛藤征士郎・自民党衆院議員
- ・日朝国交正常化推進議員連盟会長代行 額賀福志郎・自民党衆院議員
- ・立憲民主党 水岡俊一参院議員会長
- ・部落解放同盟中央執行委員長・組坂繁之
- ・共同通信社・社長 水谷亨
- ・チュチェ思想国際研究所理事長 ラモン・ヒメネス・ロペス(メキシコ)
- ・朝鮮の自主的平和統一支持アジア太平洋連帯委員会・共同委員長 ピーター・ウッズ
- ・反戦反人種差別連合体(ANSWER)事務総長 ブライアン・ベッカー(米国)
- ・デヴィ・スカルノなど 全312通

ビデオメッセージ

- ・在米同胞全国連合会 会長 キム・ヒョンファン
- ・在中朝鮮人総連合会 第1副議長 チェ・スボン

第 25 回全体大会で選出された朝鮮総聯中央常任委員

- 議 長 : 許宗萬 (87) (ホ・ジョンマン)
 第一副議長 : 朴久好 (62) (パク・クホ)
 副 議 長 : 南昇祐 (76) (ナン・スンウ)
 裴眞求 (72) (ペィ・ジング)
 趙一 (69) (チョ・イルリョン)
 = 「行」の間に「ゝ」
 宋根学 (68) (ソン・グナ)
 徐忠彦 (64) 新任 (ソウ・チュンオン)
 姜秋蓮 (74)
 事務総局長 : 裴眞求 (兼任)
 第一副事務総局長: 金誠勲 (56) (キム・ソンフン)
 組織局長 : 朴久好 (兼任)
 宣伝文化局長: 金英哲 (54) (キム・ヨンチョル)
 教育局長 : 宋根学: 兼任
 権利福祉局長: 任京河 (58) 新任 (イン・ギョンハ)
 経済局長 : 玄大植: (54) 新任 (ヒョン・デシク)
 国際・統一局長: 徐忠彦 (兼任)
 財 政 局 長 : 金鏡浩 (65) 新任 (キム・ギョンホ)
 祖国訪問事務所長: 金教徳 (76) (キム・ギョドク)

朝鮮総聯第 25 回全体大会<Q&A>

Q: 全体大会とは何か?

A: 総聯全体大会は、朝鮮総聯の最高決議機関であり、中央委員会が召集する。大会は代議員、中央委員、中央監査委員によって構成される。代議員は北海道から九州にいたる総聯の各組織から選出された。

全体大会の任務は、中央委員会、中央監査委員会の事業報告にたいする審議・決定、基本方針の樹立、重要事業の議決、会計報告および予算案の審議・決定、綱領および規約の審議・採択、役員を選出である。

全体大会は、1955年5月の結成大会から2022年5月まで25回、開かれている。

Q: どのような人たちが代議員を務めたのか?

A: 代議員は北海道から九州にいたる総聯の各組織から選出される。老若男女問わず各

階層の同胞たちが代表として大会に参加する。学生朝青員から顧問世代までその幅は広い。また約半数は非専従活動家だ。

今大会に参加した代議員を団体別の比率で見ると女性同盟が 16.5% と一番大きなシェアを占める。次に総聯支部 (14.1%)、総聯分会 (11%)、商工会 (10.8%) と続く。教職員、技術者、科学者ほかスポーツ、文化芸術、出版機関、宗教など実に様々な各階層を代表する同胞が網羅されているのも大きな特徴といえる。

Q： 今大会の特徴は？

A： 2022 年は、金日成主席生誕 110 周年、金正日総書記生誕 80 周年を迎える民族史的大慶事の年である。また、金日成主席が存亡の危機に瀕した在日朝鮮人運動における路線転換方針を示した時から 70 年にあたる。このような歴史的な年に開かれた総聯第 25 回全体大会は、主席と総書記を民族の太陽としてより高く仰ぎ、在日朝鮮人運動発展の新しい里程標を立てる一心団結の大会、継承と革新の大会となった。

そして、総書記がチュチェ偉業の最高位に推戴された時から 10 年間に成し遂げた業績を総聯事業により徹底的に具現して、金正恩時代の在日朝鮮人運動の全面的発展のために大きく歩み出し、総聯隆盛の新時代を切り開くことを内外に宣言する大会というところに、その歴史的位置を見出せる。

金正恩総書記は本大会参加者に送った書簡「各階層の同胞大衆の無限の力によって総聯隆盛の新時代を切り開いていこう」を通して、総聯と在日朝鮮人運動が自らを保存し維持する段階を超えて全面的発展期、総聯隆盛の新時代をさらに力強く切り開くことに関する総体的方向と課題、その遂行方途を全面的に明らかにした。

Q： かつてない実に厳しい試練の時期であったというが。

A： 世界的な伝染病の大流行によって総聯のすべての活動が抑制される状況の中で、愛族愛国運動が展開された。

米国とその追従勢力は朝鮮の自主権と生存権、発展権を奪おうと圧迫攻勢と制裁封鎖策動を敢行した。日本当局は総聯に対する不当な制裁と弾圧騒動、民族教育に対する差別と在日同胞に対する人権侵害をさらに悪らつに敢行し、反共和国、反総聯、反朝鮮人の殺伐とした雰囲気醸成した。

総聯は未曾有の試練の中でも、不屈の信念と愛国の心で、祖国を擁護し、総聯組織を守りながら、在日朝鮮人運動の新たな全盛期を繰り上げるため力強く前進した。

特に、154 の分会を再建・活性化し、同胞らが広域で散らばって暮らす中小本部に 8 の支部を再建したことは、総聯組織建設で収めたもっとも貴重な成果である。

Q： 第 25 期の主要課題は？

A： 総聯第 25 期活動の総体的方向は、総書記の指導のもと、総聯の組織思想的威力を決定的に強化し、隆盛繁栄する祖国と共に在日朝鮮人運動の全面的発展期、総聯隆盛の新時代を確固として切り開くところにある。

主要課題は、次の 6 つの項目だ。

宣伝教養活動において形式主義を根絶して、愛族愛国運動を力強く行う、各級組織の機能と役割をいっそう向上し、同胞たちが住むすべての地域に基層組織をもれなく整える、

同胞青年たちを頼もしい継承者、交代者に育てることに大きな力を入れる、同胞第一主義を徹底的に貫徹して同胞らの権益を擁護し、同胞らの生活便宜を図るための活動を全組織的に繰り広げる、民族教育を強化・発展させ、在日同胞の中で民族性を守るための活動に総力をあげる、祖国の統一と社会主義強国建設に特色ある貢献を行い、対外活動

を活発に繰り広げる。

24 期に比べると、25 期は課題が 5 項目から 6 項目に増え、同胞青年たちへの言及が 4 番目から 3 番目になっている。次世代に対する期待と信頼をくみ取ることができそうだ。

25 期は、愛族愛国運動を力強く推し進めるために宣伝事業で形式主義の根絶すること、各級組織の機能と役割をいっそう向上し、同胞たちが住むすべての地域に基層組織をもれなく整えるといった喫緊の課題にも取り組むことになった。

なお、大会で提起された議案はすべて全員一致で採択されている。